

大好きなソフトボール  
そして全国総体優勝を目指して

# 平川 Hirakawa Honami 穂波さん



## ソフトの強豪、とわの森へ

**全**国的にもレベルの高い道内の高校女子ソフトボール。北海道で13連覇を達成し、今年も全国大会での優勝をねらうのは「とわの森三愛高校女子ソフト部」。その主将は西当別中学校出身の平川穂波さん。今回はソフトボールにかける思いをお聞きました。

**小学校**の頃から、近所で5歳上の先輩と、キャッチボールをして遊んでいました。他にも水泳、バスケットボールもやってましたが、父が中学校でソフトの外部コーチを務めていたこともあり、中学校でソフト部を選んだのは自然なことでした。地域の農家の方も練習場を提供してくださって、冬には獅子内のビニールハウスまで1時間以上かけて通い練習しました。しかし、キャプテンとして臨んだ中学の管内大会では勝ち進めず、目

標の全道大会出場は達成できませんでした。3年生の夏、ソフトを続けようか進路で悩んでいた時、とわの森三愛高校の矢端信介監督やばたしんすけから「うちでやってみないか」と声をかけられ、迷いは吹き飛びました。やっぱりソフトをおもいきりしたかったんです。

**考える** ソフト！それがとわの森のソフトの目標。練習から監督が口を出すことはほとんどありません。わからない時に聞きに行きますが、その時は教えてくれます。実際の試合でも社会でもやっぱり自分で考えぬき、答えを出すことが大切なんだと思いました。

**41人**の部員の中で今年1月からキャプテンになりました。今はとにかく富山県での全国高校総体に向けて全力を尽くすまでです。今年はどここのチームも似たような実力。その中で昨年、一昨年と敗れている佐

賀女子高校と初戦で対決します。今度は絶対に負けられない。

**夢は** 教師になってソフトを教えたい。来年はソフト部のある東京の大学に行くつもりです。この競技は一人ひとりの技術だけでなくメンタル面の強さも大事です。そして一人では決して出来ないスポーツ。これまでチームメイト、監督、保護者、いろいろな人に支えられてやってきました。この素晴らしさを教えていく職業につきたいんです。

キャッチャーで3番。先日、旭川での試合では、満塁のチャンスに打った打球がピッチャーライナーでゲッツー。試合には必ず駆けつけるというお父さんからはきつい指導があったと言います。それでも高校生と思えない落ち着きと、目標の高さに感心させられました。今度は絶対に負けたくない切った顔には自信が満ちていました。(7月9日取材)